

開発の経緯

脳梗塞で半身麻痺の友人のお母様の洗濯作業の不便を解消したかった。

開発ストーリー

”ありがとう”クリップの開発のきっかけは、弊社取締役山田の親友のお母様が脳梗塞後遺症で片麻痺になられ口で洗濯物をくわえ洗濯している姿を見て、お気の毒で何とかしたいと、片手で出来る洗濯ばさみを考案し、お母様に提供したことが始まりです。

当初の洗濯ばさみのアイデアは、アルミの削りだしのため生産コストが高いことや、動作が安定しておらず、同じ技術が既に発表しており、新規性はありませんでした。

行き詰まっていた山田より友人の今瀬(現代表取締役)に相談があり、相談のその日に現在の”ありがとう”グリップの原案が生まれました。金属マシニング工場を営んでいる山田は、相談した当時リーマンショックで仕事が無く、遊んでいた機械を使い、翌日には試作1号をその日の午前中に完成させました。できた試作を2人でディスカッションし、カットアンドトライしながら、進化させていきました。

”ありがとう”クリップの仕様目標を体の不自由な方は元より医療関係者・主婦などの一般の方の意見を聞きながら決めました。試作1号から500以上の試作を繰り返し現在に至っています。

仕様目標の1～4上記仕様はほぼクリアできました。実際には実験データの示すとおり一般の洗濯ばさみに比べ60%の力で動作します。又保持力は、一般洗濯ばさみ以上の保持力を有しています。5、拡張性もいちどにありがとう4・いちどにありがとう16に”ありがとう”クリップを採用することで、今までにありそうでなかった洗濯グッズが完成しました。

特にいちどにありがとう4は全ての動作が片手で可能な洗濯グッズです。手の力や指の力の少ないリウマチの方やお年寄りでも洗濯物を容易に取り付けられます。台の上で使うことで、作業安定性が増します。

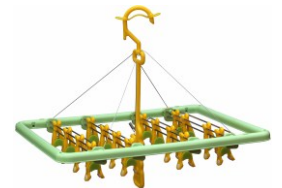
1度のたくさんの洗濯物を移動させることは、困難ですが、いちどにありがとう4を何本も使うことで、手間は掛かってもたくさんの洗濯物を処理できます。更に片麻痺の方に対応できるように、解放ユニットを左右逆に取り替えできますので、右麻痺の方にも左麻痺の方にも対応できる設計です。



”ありがとう”クリップ補助力試験 image craft自社検査データ 2011.05.10

ありがとうCLIP 補助力試験	無作為サンプル5台			測定4 (g)	測定5 (g)	平均換力 (g)
	測定1 (g)	測定2 (g)	測定3 (g)			
試験サンプル1	470	450	480	460	450	462
試験サンプル2	470	460	460	470	480	468
試験サンプル3	470	430	450	460	480	458
試験サンプル4	530	550	540	560	530	542
試験サンプル5	520	500	490	560	530	518
平均496.5 g						

他社製市販品 補助力試験	無作為サンプル5台			測定4 (g)	測定5 (g)	平均換力 (g)
	測定1 (g)	測定2 (g)	測定3 (g)			
試験サンプルA	980	1000	1020	1000	990	992
試験サンプルB	2350	2450	2400	2450	2400	2410
試験サンプルC	1300	1220	1260	1320	1340	1288
試験サンプルD	1350	1340	1320	1310	1290	1322
試験サンプルE	1300	1300	1320	1320	1290	1300



”ありがとう”クリップ無作為抽出試験サンプル5個
他社試験サンプル A/B/C/D/E 5個
測定機 IMADA FB push-pull scale SERIAL NO.179209

”ありがとう”クリップ試験 他社製品試験

想像して、創造して、楽しもう
IMAGE CRAFT 株式会社
代表取締役 今瀬 満

Web: <http://www.imagecraftjapan.com>